

2018年度事業報告

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding

沖縄フィールドワーク実施のための事前学習を行った。日本の歴史や現状を学び、国際理解を深め、議論できる力を育む。

対象：主に大学生、大学院生、青年

■沖縄フィールドワーク

世界の中、とくにアジアの中の日本を知るための体験型学習を実施する。沖縄戦の歴史と米軍基地問題について各地を訪れて学んだ。

人数：16名（友愛学舎、ゲストハウス、国際学舎、早大YMCA信愛学舎など）、ガイド2名、講師4名、スタッフ2名

期間：4月30日から5月4日4泊5日

日程：

	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日
午前	羽田空港～那覇空港	海洋研修	辺野古で抗議船に搭乗	伊江島めぐり	読谷村めぐり（シムクガマ、チビチリガマ）
午後	不屈館訪問、渡嘉敷で宿泊	渡嘉敷島内平和学習、名護で宿泊	海水浴、反戦平和資料館訪問、伊江島で宿泊	北谷散策、嘉手納基地展望、読谷村で宿泊	嘉数高台公園展望、沖縄大学訪問、佐喜真美術館見学、国際通りにて自由時間、那覇空港～羽田空港

■第7回アジア市民社会教育ネットワークCENA夏季学校【共催】

「なぜ国家は人々を殺すのか」をテーマに、教員によるセッションと学生によるプレゼンテーションを行った。学生は小グループに分かれディスカッションなどのグループワークも行った。また済州島の平和記念公園や四・三事件の現場見学を通じて、アジアでの平和構築を学んだ。

人数：大学生（友愛学舎1名、国際学舎1名）・大学院生50名、教職員11名

期間：8月5日から8月10日4泊5日

場所：韓国・済州島

参加組織：恵泉女学園大学、聖心女子大学、韓国の聖公会大学校、韓信大学校、台湾の世新大学、タイのAsian Muslim Action Network、インドネシア・イスラーム大学(U I I)

助成：庭野平和財団、美しき財団（韓国）

日程：

	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日
午前	羽田空港～済州移動	自己紹介、学生グループ作り、趣旨説明	学生発表、希望者による発表	平和祈念公園訪問、4.3現場訪問	特別講演、プログラム振り返り	済州～羽田空港移動
午後	宿舎到着	教員講義、学生発表、映像視聴	カンジョン村現場研修、グループワークショップ、教員発表	犠牲者遺族からの証言聴取、グループワークショップ	島内観光、学生グループパフォーマンス	

■中国延辺大学「日本文化体験研修プログラム」

「日本」に興味関心をもっている延辺大学の大学生を日本へ招き、勉強会、浴衣や茶道などの文化体験、モスフードサービスの企業訪問などの研修プログラムを行った。友愛学舎生と朝の会で交流を深め、舎生は歓送迎会にも出席した。

人数：延辺大学学生5名

期間：7月7日～14日7泊8日

日程：

	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日
午前	成田空港着 奉仕園移動	江戸博物館 見学	講演「二十一世紀を生きる皆さんへ」 (宮澤優子氏)	勉強会「私と日本語」 (古屋憲章氏)	講演「グローバル人材を目指して」 (定森幸生氏)	自由行動	研修発表会
午後	オリエンテーション、 歓迎夕食会	勉強会研修テーマについて (古屋憲章氏)	茶道&浴衣体験	企業見学モスフードサービス	早稲田大学キャンパスツアー、先輩経験談	地震体験	送別昼食会 振り返り
夕	歓迎夕食会				延辺大学OBOGとの交流会	権名町こども食堂見学	

■「国際交流ワークショップ in 中国・延辺大学」

本プログラムは、「相互に歴史的、文化的背景を深く学ぶ」ことによりグローバル人材として

不可欠な国際的な視野を獲得し、とくにアジアの多様性に目を向ける人材育成を目指し実施した。延辺大学を一週間訪問し、大学生生活、文化、国際問題、政治といった様々なことについて熱い議論を交わし、深い交流ができた。

人数：4名(友愛学舎2名、奉仕園ゲストハウス1名、信愛学舎1名)

期間：9月8日(土)から14日(金)、6泊7日

日程：

	9月8日	9月9日	9月10日	9月11日	9月12日	9月13日	9月14日
午前	成田→ソウル→延吉	延辺博物館見学	講演「中国朝鮮族の過去・現在・未来」(高承龍)	授業参観1	帽児山登山	朝市見学 国境見学	延吉→ソウル→成田
午後		キャンパスツアー、市内見学	大学生交流会「大学生生活について」	授業参観2	餃子作り体験	研修報告会	
夕	オリエンテーション、周辺案内	懇親夕食会	世紀広場周辺観光			送別会	

■韓国ハンバット大学日本インターン研修

奉仕園が受け入れ窓口となり都内の企業、NGO団体等でフルタイムインターン(現場実習)を実施。当実習はハンバット大学の単位認定を伴うプログラムであり、奉仕園施設に宿泊し、研修開始時・終了時に友愛学舎との交流も実施した。

参加者：6名

期間：2018年7月16日～8月10日

研修先：在日本韓国YMCAアジア青少年センター、株式会社バク宙、

国際交流NGOピースボート、公益法人プラン・インターナショナル・ジャパン

■韓国スタディーツアー

ろうそく集会、南北対話など、大きく変わろうとしている韓国を訪ねて、人々がどのように民主的な社会を作ろうとしているのか、①若者問題②まちづくり③多文化共生の3つをテーマに学ぶ。

参加者：大学生から70代の方まで18名

期間：11月22日～25日3泊4日

日程：

	午前	午後	夜
11/22 (木)	羽田空港出発 昼食：貞洞コムタン(聖公会を中心にクラウドファンディングでできた社会的企業。収益を貧困層や子ども、高齢者の給食活動に使っている)	★ソウル市庁訪問とレクチャー ◎ソウル市労働秘書官より市政の主要政策について聞く ★光化門広場散策	★懇親会 コーディネーターによる最新韓国事情解説
11/23 (金)	★ソウル革新パーク見学 中間支援団体や様々な社会的企業が集まった創造スペースを訪ね、その意味と実際を見学 昼食：若者求職活動支援の一環としてヤングシェフが運営するレストランで	★ソウル市の青年政策と実践を学ぶ 1. 青少年未来進路センター ◎青少年の学びと成長を支援する代案学校 2. 青年活動支援センター ◎青年の深刻な貧困や失業に取り組む実践機関	自由行動
11/24 (土)	★ソンミサンマウル訪問 ◎住民参加のまちづくりとは？レクチャー後マウルガイドと一緒にまちを巡る 昼食：マウル内のレストランで	★多文化共生の実践を見学 1. 恩平区多文化家族支援センター 2. 恩平外国人勤労者センター	自由行動
11/25 (日)	自由時間 ★希望者のみ「西大門刑務所博物館」見学	帰国	

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進するプログラム。友愛活動の一環として、国際学舎に居住する留学生及び早稲田大学留学生等を対象にプログラムを開催した。

開催日	内容	参加者
4月～3月隔週	ドリームカフェ	平均 30 名(うちボランティアスタッフ 3 名)
6月 15 日	歌舞伎鑑賞	45 名(留学生 15 名、日本語ボランティアの会学習者 19 名、引率 6 名、うち友愛学舎生 5 名)
7月	七夕のロビー展示	
11月 25 日	高尾山紅葉狩り	10 名(留学生 6 名、引率 4 名、うち友愛学舎生 3 名)
1月 28 日	お餅つき	30 名(早稲田教会と合同)
3月	ひな祭りロビー展示	
3月 29 日	お花見	33 名(留学生 24 名、RA2 名、スタッフ 1 名、ボランティアスタッフ 3 名、友愛学舎生 3 名)

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア講師として日本語を必要としてい

る学習者にボランティアで日本語を教える。課外活動、学習者発表会、新年会、研修会など随時行う。

活動日：水曜日：3クラス、金曜日1クラス 年間81日授業日

のべ参加人数：ボランティア2,182名、学習者4,671名

20周年記念行事：①11月28日(水)20周年記念学習者発表会

②2019年1月23日(水)20周年記念新年会

③20周年記念会報「こんにちは日本語」40号(水・金)発行

④12月7日(金)15周年記念クラスパーティ

■早稲田ネットワーク外国人無料生活相談会

日本社会で暮らす在日外国人への無料相談窓口を開設することで、行政や教育的な制度活用を支援し、共に生きる社会を身近な形で実現することを目指した。生活・労働・教育の分野で相談スキルを持つ個人が集まり相談業務に当たってきたが、来会者が多くは得られない現状がある。

日時：5月13日、8月12日、11月11日、2019年2月10日の13時～17時

会場：日本キリスト教会館1階早稲田奉仕園活動室

■野宿者支援給食活動@渋谷

給食活動の食事準備、配食のボランティア活動を通して、貧困や生存権の問題を身近に感じた。早稲田教会、東京平和教会、日本福音ルーテル本郷教会、本郷学生センターの有志が参加し、協働プログラムとして実施した。活動実績は5,987食を準備し、2,832人の方にお渡しした。ボランティアは準備に300人、配食に359人が参加した。

保存食は学校の備蓄（聖望学園中学校・高等学校、玉川聖学院中等部・高等部、青山学院女子短期大学、立教大学）、都の備蓄を分配する一般社団法人食品ロス・リポーンセンター、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンなどの団体のほか、個人でもご支援をいただいている。

■震災被災者支援ボランティア活動

福島原発事故により首都圏に自主避難されている家族にも呼びかけ、奉仕園留学生とともに国際交流を兼ねた富士登山(8月開催)を実施した。

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語学講座

①アジア語学講座 通年クラス

ベンガル語、ヒンディー語の言語を学習する語学講座、及び料理などの文化や地域社会を学ぶプログラムを開催した。言葉の習得にとどまらずアジアの各地域の文化や習慣、社会を理解することを目指した。(2018年度をもって終了)

前期：受講者数合計 14 名

クラス	初級	中級	上級	合計
ベンガル語	初級 3 3	5	3	11
ヒンディー語	初級 2 3			3

後期：受講者数合計 9 名

クラス	中級	上級	合計
ベンガル語	6	3	9

講師：ベンガル語 アザド・ムンシ、スルタナ・ムンシ
ヒンディー語 雪下洋一

②アジア語入門 土曜集中講座

はじめて文化や言語に触れる方対象の語学集中講座。土曜午前の時間帯に設定することで、夜間に参加できない層を対象に開講した

前期：ベンガル語 9 名、ヒンディー語 10 名

2018 年 6 月 23 日、30 日、7 月 7 日、14 日、21 日

アザド・ムンシ、白井桂

後期：ベンガル語 4 名、ヒンディー語 7 名

2018 年 11 月 17 日、24 日、12 月 1 日、8 日、15 日

アザド・ムンシ、町田和彦

③アジア語学講座特別イベント インド映画「あるがままに」

「高齢者問題」「介護」「家族」をテーマにしたインド映画「あるがままに」の上映会。土曜集中講座の広報のため共催で行なった。

主催：HMI ホテルグループ主催、共催：早稲田奉仕園

開催日：2018 年 10 月 26 日

参加者数：60 名

■日本語ボランティア養成講座

外国人に日本語を教えるノウハウを学ぶ講座。初級Ⅰ、初級Ⅱ、中・上級を 1 年かけて学ぶ。

初級Ⅰ修了後から日本語ボランティアの会での活動に加わることができる。

講師：山本和子(武蔵大学・防衛大学校非常勤講師)

クラス：初級Ⅰ 4月開講 全15回

初級Ⅱ 10月開講 全11回

中上級 2月開講 全4回

受講者数：初級Ⅰ10名、初級Ⅱ6名、中上級5名

■Let's 朗読

毎回の講座ではストレッチで体をほぐした後、発声練習で発音や発声をクリアにし、作品に取り組み、詩や物語を感じながら朗読する。講座最終日にはお客様、スタッフ併せて11名を迎え、ミニ発表会を教室内で開催。12月14日のゴスペル講座クリスマス発表会では朗読講座講師と有志がゲスト出演した。

期間：前期 4月～9月全8回

後期 10月～3月全8回

受講者数：前期13名

後期11名

講師：飯島晶子(朗読家)

■スコットホールでゴスペルを歌おう

スコットホールで思い切り声を出し、合唱を楽しんで元気になる！講座。ストレッチ、ボイストレーニングをし、シーズンの課題曲(講師によるオリジナルアレンジ曲)を練習。

講師：藤子(プロシンガー、ボイストレーナー)

対象：学生、社会人

受講者数：

ゴスペル公演：

①	4月開講 全7回	11名
②	7月開講 全7回	10名
③	10月開講 全7回	10名
④	1月開講 全7回	10名

4月7日	新宿区主催レガスマつり	10名
4月19日	無料体験レッスン	6名
8月2日	練馬キングス・ガーデン	9名
9月13日	フォレスト西早稲田	9名
11月8日	スコットホール公開日フラッシュ モブ	8名
12月13日	クリスマス発表会	10名
12月20日	フォレスト西早稲田	9名

■STUDY HALL!

単発のイベントを束ねる枠組み。「STUDY HALL」は主にアメリカで使われる「自習室」の意。まなび舎の4つのカテゴリーに沿い、「おもしろい学び」の空間を目指す。ある程度集客を期待できそうな企画について時期を逃さずに実施、「おもちゃ箱」のように雑多であることを特徴とするプログラム。桂川潤氏(装丁家)、中植きさら氏(ポレポレタイムス社)、李明生氏(早稲田奉仕園評議員・ルーテル田園調布教会)に企画委員を務めていただいた。

第20回 2018年5月19日 映画「祝の島」上映会&瀬瀬あや監督トーク スピーカー：瀬瀬(はなぶさ)あや 参加者：42名
第21回 6月22日 町を歩いて本のなかへ～早稲田から一箱古本市へ～ スピーカー：南陀楼綾繁(ライター・編集者) 参加者：15名
第22回 7月21日/7月12日～25日 映画「奪われた村」上映会&豊田直巳監督トークライブ 写真展「叫びと囁き フクシマ・避難民の7年間の記録と記憶」 スピーカー：豊田直巳(写真家・映画監督エッセイスト) 参加者：28名(トーク)/約100名(展示)
第23回 9月29日 ドキュメンタリー映画『主戦場』上映会&トークイベント スピーカー：ミキ・デザキ(ドキュメンタリー映画監督) 参加者：29名
第24回 11月1日～6日/11月1日 堀誠(共同通信カメラマン)写真展「維新の影」 姜尚中&堀誠オープニングトーク「維新の影 日本近代150年についての思索」 参加者：80名(トーク)/約200名(展示)
第25回 11月16日～21日/17日 ギャラリー展示「アフリカを読む、知る、楽しむ 子どもの本」展 トークイベント「アフリカと日本と 子どもの本から見えてくるもの」 スピーカー：さくまゆみこ(翻訳家・編集者・アフリカ文学研究者) 後援：新宿区、新宿区教育委員会 参加者：120名(展示)/23名(トーク)
第26回 12月15日 多文化共生のまちを歩く～川口市芝園団地 スピーカー：岡崎広樹(芝園団地自治会事務局長)、圓山王国(芝園かけはしプロジェクト代表) 共催：マイノリティ宣教センター 参加者：25名

■聖書講座 新しい聖書の学び マルコ福音書をジックリと読む【共催】

マルコによる福音書をギリシャ語の語義、言葉の使われた社会背景、テキストの編集過程等

を検証しながらゆっくりと読み進めた。講座終了後には特別企画として聖書時代の料理を作って食べる会を実施、参加者の親睦を深めた。

開講日：毎月第2火曜、全10回

受講者：のべ53名、平均25名、特別企画16名

講師：山口里子(日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

(4) 学寮運営事業(友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

舎生数：2018年度は4年生3名(男子1名・女子2名)、3年生3名(男子3名)、2年生3名(男子1名、女子2名)の在寮生に加え、新1年生3名を迎えた。

活動：朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の基本7時から7時30分まで。聖書研究・コリントの信徒への手紙1、2及び学生発表等も行った。

舎生会 毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合った。

年間活動 4月の活動開始に向け、新入生を含めたオリエンテーションを3月23日から24日まで、千葉・九十九里浜にて実施し、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持った。卒舎式(3月)などの行事のほか、年中行事を楽しむ会などを担当し引率を行った。また教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を増やしていくようにし、広い視野を持って社会に出て行かれるようサポートをおこなった。

協力：福山裕紀子副牧師(早稲田教会)にカウンセラーとして、古賀博牧師、大矢直人牧師、中澤重光宣教師に聖書研究のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕いただいた。

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。2018年度は会合を開催できなかったが、友愛学舎を含む9学寮(信愛学舎、山手学舎、山上学寮、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、東大YMCA寮、一橋YMCA寮)の担当者間で、随時連絡を取った。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮、7名が在寮。奉仕園プログラムなどへの積極的な参加を促した。

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮。レジデントアシスタント(RA)がRAコミュニティールームに平日の19時から21時まで常駐。早大レジデンスセンターとの情報共有に努め、留学生が安心して安全な寮生活が送れるよう、近隣にある交換留学生寮(早大寮・西早稲田寮)とも連携を図った。

2018年度国・地域別居住者数(合計290名、36の国と地域)

中国	48	アメリカ	48	フランス	25	イギリス	28
ドイツ	16	韓国	15	台湾	11	日本	15
オーストラリア	6	オランダ	12	シンガポール	4	カナダ	6
イタリア	7	ラトビア	1	ロシア	5	マレーシア	2
スウェーデン	5	スイス	4	香港	5	ノルウェー	6
スペイン	1	オーストリア	2	ルーマニア	1	ロシア	1
チェコスロバキア	1	デンマーク	3	ドミニカ	1	タイ	2
エストニア	1	ニュージーランド	1	ルクセンブルク	1	コロンビア	2
フィンランド	1	フィリピン	1	アイルランド	1	ブラジル	1

■留学生健康相談室の運営

必要に応じて個別面談を実施し健康状態の把握に努めた。大学とも連携し、緊急時を含めてすみやかに対応できるように、連絡体制などを随時確認した。

開室時間：毎週月曜日 14:00～18:00

毎週木曜日 14:00～18:00

第3火曜日 16:00-19:00

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症(インフルエンザ等)についての情報提供、健康状態の把握、既往歴患者へのフォローアップなど。

■FRIDAY・NIGHT

寮生間の親睦をはかるパーティー。入寮の時期となる4月及び9月に開催した。9月はJapanese Nightとして友愛学舎がホストを務めた。

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に12月8日に開催し、80名ほど参加した。交流パーティーのほか、グループや個人によるアトラクションを実施した。他の早稲田大学交換留学生寮と日ボラの方へも呼びかけ、数名の参加があった。

■第9回富士山登頂研修旅行

留学生との国際交流と富士山の自然に触れることを目的に、共に山頂をめざした。事前オリエンテーションにて、富士山のことや登山の知識等のレクチャーをおこなった。

人数：友愛学舎生1名、留学生7名、RA1名、引率職員1名、NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクト2家族5名

期間：8月4日～6日2泊3日(1泊は山小屋)

協力：日本YMCA同盟東山荘、NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクト

■Exchange cooking program

ベトナム料理と日本料理を共に作り、ともに食べることを通じて国際理解を促進した。

第1回 7月27日ベトナム料理・バインミー、生春巻、ベトナムコーヒー 8名参加

第2回 3月29日おにぎり、玉子焼き 戸山公園にてお花見 27名参加

■第2回北海道三笠市研修旅行

北海道三笠市を訪問し、小学校訪問、地域施設訪問、わかさぎ釣り、スキー体験などを通じて日本の歴史、文化、地方自治体の現状などへの理解を深めた。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生7名、RA2名、職員引率2名

期間：2月4日～6日、2泊3日

協力：北海道三笠市教育委員会、北海道三笠市役所

日程：

	2月4日(月)	2月5日(火)	2月6日(水)
午前	羽田空港発	わかさぎ釣り	ホテルから出発 札幌駅または雪祭り会場解散
午後	三笠小学校訪問、給食、児童と国際交流 三笠市高校レストラン(どらやき、出汁作り体験)	スキー体験	
夕	懇親会	懇親会	
泊	HOTEL TAIKO	HOTEL TAIKO	

■ホームビジット

留学生に東京近郊の一般的な日本人の生活に触れてもらう機会を提供した。留学生を迎えるホストファミリーには奉仕園OBOG、早稲田教会、奉仕園日本語ボランティアの会などにご協力いただいた。

実施期間：前期 6月9日～7月1日

後期 10月27日～12月2日

参加人数：前期 5つのホストファミリーに10名の留学生が訪問

後期 5つのホストファミリーに7名の留学生が訪問
また、ホームビジットの関係を通じてご招待をいただいているクラシックコンサート(1演目)に4名が参加した。

■第3回留学生インスタ写真展

日本に住む海外からの留学生を対象にインスタグラムを使用したWEB写真展を開催。留学生6名の受賞作品を選定し、12月に授賞式を行った。

実施期間：2018年11月1日～11月30日

応募総数：約170点

贈呈式：2018年12月

協賛：公益財団法人高山国際教育財団、万座温泉日進館 万座温泉ホテル

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

月極駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。月極駐車場は1区画増設したが、通年ほぼ満車の契約をいただいた。

■早大染谷会館管理

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応を実施。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業

■施設の貸与（会議室・ホール）

- ・ 一般利用のお客様：会議室・ホールは 学習会、語学教室、音楽練習やコンサート、講演会など多岐に渡ってご利用いただいている。
- ・ 定期利用団体：セミナーハウスを活動の場として長く定期利用している団体(現在 33 団体)には登録をいただき、年間で部屋を確保するようにした。
- ・ 株式会社日比谷花壇：ギャラリー及び講堂を葬儀やお別れの会で使用いただいた。ギャラリーでの小規模な葬儀がメインとなった (12 件中 8 件)。
- ・ 撮影：46 件のスチール撮影と 11 件の動画撮影、計 57 の撮影使用があった。スチールの

内訳は、媒体の約 60%が雑誌で、内容の 85%がファッションであった。動画は媒体の約 80%がテレビで、内容で一番多かったのは情報バラエティ番組であった。

■施設の改修・修繕

- ・ 講堂、リバティホールワイヤレスマイク化およびリバティホールのスピーカー新設
- ・ リバティホール空気清浄機設置
- ・ 給湯室にドリンクコーナーを設置・ロッカーの整理
- ・ YOU-I ホール音響設備更新、ワイヤレスマイク増設
- ・ スコットホール地下にスコット夫人の肖像写真と額を新調
- ・ 講堂パイプオルガン設置(早稲田教会との協力事業)

■早稲田スコットホールギャラリー

ギャラリーは猫をモチーフにした作品を制作する作家グループの展示があり、次年度へのリピートにつながる利用になった。またオープンスペースとしてさまざまな利用に対応できるスペースとして案内を心掛けた。その他撮影のリポート利用も入る機会が増えた。

■プログラム（協賛を含む）の開催

- ・ スコットホール公開&ガイドツアー(11月8日、約110名参加)や関連企画として2つの自主クラス(美術レッスンと夏目坂写真塾の有志参加者による)合同作品展「光と色の旅」を開催した。
- ・ チャリティ古本市は第22回5月15日から7月20日に実施し68,900円を「永山こども基金」に、第23回10月15日から11月末に実施し62,400円を「アフリカ子どもの本プロジェクト」に寄付した。

3. 公益目的事業・収益事業共通業務

■広告・宣伝

引き続きホームページ、SNS等による情報発信の強化に努めたほか、セミナーハウス予約ではネットで空き状況がわかるようにし利用者の利便性向上をはかった。

■事業評価

6月19日にセミナーハウス事業部、9月25日に活動事業部、12月4日に学寮事業部を取り上げ、各事業部の現状の共有化をはかった。

4. 法人総務

■財団会議

①理事会

第1回定時理事会(6月6日)

第2回定時理事会(3月5日)

②評議員会

定時評議員会(6月21日)

③常任理事会

第1回常任理事会(5月25日)

第2回常任理事会(7月31日)

第3回常任理事会(10月19日)

第4回常任理事会(2月20日)

④評議員・理事・監事懇談会(1月22日)

■監査

監事監査 5月17日(決算)、11月14日(期中)

監査法人監査 4月3日(実査)、5月16日～17日(決算)、11月15日(期中)

■理事人事

【理事長】 新任：鎌田薫(11月4日付) 退任：奥島孝康(11月4日付)

■鎌田薫新理事長就任式・奥島孝康前理事長感謝会

日時：11月10日(土)午後2時より4時30分

開場：リーガロイヤルホテル東京

出席：101名

■登記

代表理事変更登記(11月5日付)

■行政庁(内閣府)諸届

2017年度事業報告等の提出(6月26日)

代表理事変更届の提出(11月13日)

2019 年度事業計画書等の提出(3 月 28 日)

■早稲田奉仕園賛助会員

2018 年度は個人 119 名に加入いただいた。

■広報

奉仕園通信は 75 号(6 月 15 日)、76 号(12 月 25 日)を発行、ホームページの更新及び「奉仕園スタッフのブログ」の掲載を随時おこなった。

■キリスト教施設長会議

沖縄ぎのわんセミナーハウスを会場に 1 月 15 日から 17 日開催、阿部千秋専務理事が出席した。

■国際協力 NGO センター(JANIC)公益法人に関する連絡会

定例会を 5 月 24 日、9 月 27 日、1 月 24 日の 3 回奉仕園にて開催、各団体における内閣府の立入検査の状況、公益法人会計の諸課題ほか財団運営諸般にわたり情報交換を行う。連絡会は現在 16 団体が加盟。

2018 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

2019 年 5 月

公益財団法人 早稲田奉仕園